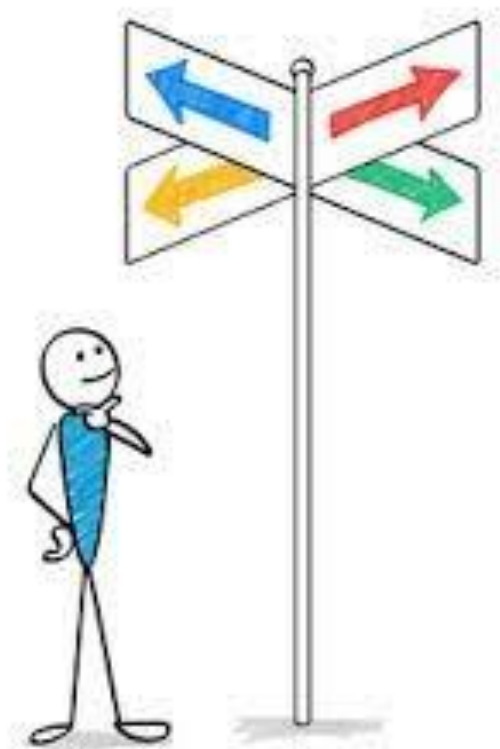


令和8年度 第2回進路説明会 資料

進路の手引き



令和8年10月20日（火）

江東区立深川第七中学校

目 次

1	はじめに～3年生後半の生活で心がけること～	3
2	令和9年度東京都立高等学校入学者選抜の実施方法の変更について	4
3	令和9年度都立高等学校入試【推薦に基づく選抜】	5
4	令和9年度都立高等学校入試 【学力検査に基づく選抜：第一次募集・分割前期募集について】	8
5	令和9年度都立高等学校入試 【学力検査に基づく選抜：分割後期・第二次募集募集について】	13
6	私立高等学校入試について	14
7	その他の進路について	16
8	深川第七中学校の学校推薦について	17
9	書類について	18
10	今後の進路予定	19
11	保護者の方へのお願い	21
12	進路関係資料	22+

1 はじめに～3年生後半の生活で心がけること～

(1) 確かな学力を實力に

- ・具体的な目標をもって勉強に取り組む。
- ・見通しをもって進路のことを考え、学習計画の最後の調整をする。
- ・毎日の授業に真剣に取り組む。

(2) 充実した中学校生活を送る⇒これからの中学校生活が、その後の将来の生活につながっていく

- ・自分の仕事や役割を、責任をもって果たす。
- ・仲間との信頼関係を築き、よりよい人間関係をつくる。
- ・積極的に行動し、自分の出番を進んで作る。

(3) 心身の健康管理をしっかり行う

- ・規則正しい生活を心がける。(特に学校が終わった後や、休日)
- ・バランスのとれた食事、睡眠時間の確保をする。
- ・適当な気分転換、休養をとる。

(4) 進路について具体的に考える

- ・自分の将来について考え、進学や就職の道を選ぶ。
- ・自分の性格や適性を知る(自己分析)。

(5) 進路の情報を集める

- ・学校説明会等に積極的に参加する。
- ・情報の分析・整理(ネットの評判等、うわさに惑わされない)を行う。
- ＊保護者や家族、先生の意見にも耳を傾け、広い視野に立った進路選択をしましょう。

(6) 志望先が決まったら必要な準備に取りかかる

- ・募集要項を熟読して必要な書類を確認し、準備をする(12月中には済ませましょう)
- ・出願から発表・手続きまでの日程や方法について、しっかり理解してください。
- ・今年度も一部の学校を除き原則としてインターネット出願となります。
- ＊都立高校以外の願書は各家庭で取り寄せてください(有料の学校もある)。
- ＊都立高校二次募集・三次募集の願書は中学校で用意します。

進路選択の最終決定は、生徒本人が保護者の方と相談して行うものです。
したがって今後はこれまで以上に家庭で進路について、しっかり話し合いの機会を
もってほしいと思います。もちろん、困ったことや心配なことがあったら、先生方にも
気軽に相談してください。

周囲の意見を参考に、実際に自分の目で確かめて、きちんと自分の未来を切り拓
いていきましょう。

2 令和9年度東京都立高等学校入学者選抜の実施方法の変更について

(1) 国際高等学校のバカロレアコースの入学者選抜

- ・国際高等学校のバカロレアコースの入学者選抜のうち、9月入学生徒の選抜を廃止し、4月入学生徒の選抜のみを実施する。

(2) 入学者選抜における調査書の取扱い

- ・学力検査の得点と調査書点の比率について、7：3と10：0の両方の方法で算出しどちらか高い方を本人の得点として選抜する選抜方法を、新たに2校の高等学校全日制課程普通科で実施する。

新たに実施する2校・・・・・・・・・・北園高等学校、武蔵野北高等学校

昨年度から実施している学校・・・・深沢高等学校

※ 今年度ではありませんが、来年度以降大きな変更点が、現時点で発表されているものがあります。

- ・第一商業高等学校が全日制普通科に変わり、グローバルファイナンスコースと国際バカロレアコースが新設されます。
- ・新宿高等学校、国分寺高等学校、駒場高等学校の3校で、デジタルとリアルを組み合わせた「新たな教育のスタイル」が導入される。

3 令和9年度都立高等学校入試【推薦に基づく選抜】

(1) 推薦に基づく選抜

- ① 一般推薦
- ② 文化・スポーツ等特別推薦（以下「特別推薦」という）
- ③ 理数等特別推薦(立川高校・科学技術高校で実施)（以下「特別推薦(理数)」という）

推薦に基づく選抜日程（一般推薦及び特別推薦）

事 項	日	時
インターネット 入力期間	令和8年12月18日(金)～令和9年1月18日(月)17:00	
書 類 提 出 期 間	令和9年 1月 8日(金)～18日(月)（必着）	
個人面接、実技検査等	令和9年1月26日(火)・27日(水)	
合 格 発 表	令和9年2月2日(火)	午前8時30分(WEB) 午前9時30分(掲示)
入 学 手 続	令和9年2月2日(火) 2月3日(水)	午前9時30分～午後3時30分 午前9時～正午

(2) 応募資格

- ① 志願する都立高校を第1志望とする者
- ② 中学校長の推薦を受けた者
- ③ 保護者と同居している者で令和7年12月31日現在、都内に住所を有し、それ以降も都内に住所を有し、かつ入学後も引き続き都内から通学することが確実な者。
*保護者と同居していない場合は「具申書」が必要。

(3) 出願方法

① 一般推薦

志願者は、1校1コース又は1科（1分野）に限り出願する。志願変更はできない。

志望する同一の都立高校内にある同一の学科内に2科（2分野）以上ある場合は、第2志望として他の1科（1分野）に限り指定することができる。

ただし、同一の都立高校内に普通科とコース又は農業科と家庭科等、複数の学科がある場合は、それぞれ別の学科として扱うため、一方を第1志望とした場合、他方を第2志望に指定することはできない。

② 特別推薦

志願者は、特別推薦を実施する都立高校の種目等のうちから1種目を指定し、1コース又は1科に限り出願する。志願変更はできない。また、当該校の一般推薦に出願することができる。

* 両方出願する場合は、受験料は両方分、支払うことになる。

③ 特別推薦(理数)

志願者は、1校1科に限り出願する。志願変更はできない。また、他の推薦に基づく選抜に出願することはできない。

*インターネット出願の流れは「東京都立高等学校に入学を希望する皆さんへ」P61を参照。

(4) 出願手続き【出願に関する書類】

① 一般推薦

ア 一般推薦書	中学校が作成します。
イ 入学願書	インターネット出願では、出願サイトに志願者情報を入力する。漢字の入力に注意。文字が出ないときは「本サイトに入力できない文字の有無」の項目で「あり」を選択する。 写真データ、志願者情報を入力する。中学校長の登録承認の後に入学者査料領収書を支払い、アップロードする。
ウ 調査書	中学校が作成します。
エ 自己PRカード ※内容等については「令和8年度東京都立高等学校に入学を希望する皆さんへ」P65を参照。	生徒が記入し作成します。手書き又は電子ファイルへの入力及び印刷により作成(家庭で下書き、学校でチェック⇒清書)。 <u>消えるボールペンは使用不可。</u>
オ 入学者査料 2,200円 ※出願サイト上でも決済ができます。	出願サイト上での決済又は所定の納付書(配付)による納付。 納付書による場合は、 <u>事前に</u> 郵便局か、銀行で納付した領収証書の画像を出願サイトにアップロードする。

② 特別推薦

ア 文化・スポーツ等特別推薦書	中学校が作成します。
イ 入学願書	※一般推薦と同じ。漢字の入力に注意。 一般推薦を同時に志願する者は、特別推薦の内容と併せて <u>1枚の入学願書</u> に入力する。
ウ 調査書	中学校が作成します。 一般推薦を同時に志願する者は1部のみ提出でよい。
エ 自己PRカード ※書く内容等については上記参照。	※一般推薦と同じ。 一般推薦を同時に志願する者は1部のみ提出でよい。
オ 入学者査料 2,200円 ※出願サイト上でも決済ができます。	一般推薦を同時に志願する場合は、特別推薦・一般推薦双方の入学者査料の支払が必要。その際、領収証書2枚の画像を出願サイトにアップロードする。

③ 特別推薦(理数)

ア 理数等特別推薦書	志願者が自分で高校に取りに行き、中学校が作成します。
イ 入学願書	※インターネット出願では、出願サイトに志願者情報を入力する。漢字の入力に注意。
ウ 調査書	中学校が作成します。
エ 自己PRカード	※一般推薦と同じ。※内容等については上記参照。
オ 科学分野等の研究に関するレポート	A4判2枚以内、様式は任意。
オ 入学者査料 2,200円 ※出願サイト上でも決済ができます。	※一般推薦と同じ。

(5) 検査内容

① 一般推薦

一般推薦の志願者全員に個人面接を実施する。集団討論については、必要と判断した都立高校において実施する。また、小論文又は作文、実技検査、その他学校が設定する検査のうちから、当該都立高校長が定めたいずれか一つ以上の検査を実施する。

② 特別推薦

特別推薦の志願者全員に個人面接及び実技検査を実施し、小論文や作文等のその他の検査の内容については当該都立高校長が定める。

③ 理数特別推薦

科学分野等の研究に関するレポートについての口頭試問、個人面接及び小論文の検査を実施する。

(6) 選考

① 一般推薦

選考は、各都立高校があらかじめ定めた選考方法に基づき、調査書、個人面接（集団討論を実施する学校は集団討論を含む）、小論文又は作文等の検査を総合した成績、入学願書による志望及び都立高校長が必要とする資料（自己PRカードを含む）により行う。*個人面接や集団面接にあたっては、自己PRカードを面接資料として活用する。

*具体的な推薦基準は各都立高校で作成する「本校の期待する生徒の姿」をご覧ください。

② 特別推薦・理数特別推薦

選考は、各都立高校があらかじめ定めた選考方法に基づき、総合成績により行う。

選考に当たっては、各都立高校が自校の教育活動の実績や特色などに基づいて適切な基準を定める。個人面接又は集団面接及び実技検査のほか、小論文又は作文等の検査を適宜組み合わせ、選考資料として用いる。*個人面接や集団面接にあたっては、自己PRカードを面接資料として活用する。

(7) 入学手続

合格者は、入学手続期間内に入学確約書（推薦）を提出し、所定の納付書により、納付期間内（合格発表日の翌日から起算して5日以内）に入学料（全日制 5,650 円）を納付しなければならない。

<重要> 推薦に基づく選抜では出願したら必ず受検します。

合格した場合、辞退することはできません。

*推薦入学は、本人自身がその学校で学びたいという意思を表明し、中学校長の推薦を受けて受検するもので中学校の代表ということになります。したがって、受検を辞退したり入学を辞退したりすることはできません。合格者は必ず手続きをとり、入学することになります。

4 令和9年度都立高等学校入試【学力に基づく選抜】

(1) 学力検査に基づく選抜：第一次募集

＜第一次募集日程＞

事 項		日	時
インターネット入力期間		令和8年12月18日(金)～令和9年2月4日(木)17:00	
書類提出期間		令和9年 1月29日(金)～2月 4日(木) (必着)	
志願 変更 ※	願書取下げ	令和9年2月10日(水)	午前9時～午後3時
	願書再提出	令和9年2月12日(金)	午前9時～正午
学力検査及び面接		令和9年2月21日(日)	集合 午前8時30分 (定時制成人受検者特別措置者も同じ)
面接及び実技検査等		令和9年2月21日(日)以後、各都立高校が定める日時	
合 格 発 表		令和9年3月1日(月)	<u>ウェブ発表</u> 午前8時30分 (全日制) 午前9時30分(校内掲示) (定時制) 午後4時(校内掲示)
入 学 手 続		令和9年3月1日(月)	(全日制) 午前9時30分～午後3時30分 (定時制) 午後4時～午後8時
		令和9年3月2日(火)	(全日制) 午前9時～正午 (定時制) 午後4時～午後8時

※志願変更ができるのは、全日制に出願した者のみであり、実施要綱における定時制（夜間学年制）に出願した者は、志願変更できない。

(2) 応募資格

保護者と同居している者で、都内に住所を有し、入学後も引き続き都内から通学することが確実な者

*保護者と同居していない場合は「具申書」が必要。

＜応募が認められない者＞

第1次募集入学願書受付までに終了する都立高校の推薦に基づく選抜における合格者、東京都立産業技術高等専門学校の入学者選抜の合格者。

(3) 出願方法

都立高校を志願する者は、1校1コース又は1科（1分野）に限り出願する。

ただし、志望する同一の都立高校内にある同一の学科内に2科（2分野）以上ある場合は、他の全ての科（分野）に志望順位を付けて出願することができる。

*インターネット出願の流れは「東京都立高等学校に入学を希望する皆さんへ」P61を参照。

(4) 出願手続き 【出願に関する書類】

① 入学願書	インターネット出願では、出願サイトに志願者情報を入力する。漢字の入力に注意。文字が出ないときは「本サイトに入力できない文字の有無」の項目で「あり」を選択する。 写真データ、志願者情報を入力する。中学校長の登録承認の後に入学考査料領収書を支払い、アップロードする。
② 入学考査料 2,200 円 (定時制は 950 円)	出願サイト上での決済又は納付書による納付。納付書による場合は郵便局か、銀行で納付した領収証書の画像を出願サイトにアップロードする。
③ 調査書	中学校が作成します。
④ 自己PRカード	面接を実施する都立高校の志願者のみ提出する。
⑤ スピーキングテスト個人レポート	都立高校提出用の原本を提出する。

(5) 志願変更

志願者は入学願書提出後、下記の表の○を付した変更について、1 回に限り行うことができる。
ただし、入学願書の返却を受けた都立高校の同一のコース・科に再提出することはできない。また、同一の都立高校内にある同一学科内の科（分野）相互間の志望順位の変更もできない。

（一度取り下げると、戻せないの慎重に検討してください。）

※ 面接実施校を志願変更先とする場合は、自己PRカードを新たに作成することになります。
＜全日制から定時制など志願変更できないケースがあります。下の表で確認して下さい。＞

再提出 取下げ			定 時 制		
			定時制単位制		定時制単位制 以外
			チャレンジスクール (注1)、 八王子拓真高校 (チャレンジ枠) 及びグループA (注2)	グループB (注3)	
全 日 制			○	×	×
定 時 制	定 時 制 単 位 制	チャレンジスクール(注1)、 八王子拓真高校 (チャレンジ枠) 及びグループA (注2)	○	×	×
		グループB (注3)	×	×	×
	定時制単位制以外		×	×	×

(注1) チャレンジスクールとは、六本木、大江戸、世田谷泉、稲ヶ丘、桐ヶ丘、小台橋、立川緑高校をいう。

(注2) グループAとは、一橋、浅草、荻窪、八王子拓真（一般枠）、砂川高校をいう。

(注3) グループBとは、新宿山吹、六郷工科、飛鳥、板橋有徳、青梅総合、東久留米総合高校をいう。

◇ 志願変更の手続き

- ① 志願変更する者は、志願変更願を、在学している中学校長の確認を経て、出願した都立高校長に提出する。
- ② 提出した出願に要した書類、及び調査書等の返却を受ける。
- ③ 返却された調査書（志願変更願を受理した都立高校長から返却を受けたもの）及び新たに作成した自己PRカード（面接実施校のみ）を、志願変更先の都立高校長に提出する。
同時に、指定された日時に出願サイト上で新たに必要事項を入力する。
- ④ 新たに受検票の交付を受ける。

＊ チャレンジスクール、八王子拓真高校（チャレンジ枠）、一橋高校、浅草高校、荻窪高校、八王子拓真高校（一般枠）及び砂川高校に出願後、全日制高校へ志願変更する者は、入学考査料の差額（１，２５０円）を再提出先の全日制高校の窓口において、現金で納付する。

（６）学力検査等の実施

- ① 学力検査：国語・数学・英語・社会・理科の中から３～５教科を、各都立高校で定めて実施。（５教科受検、３教科受検、学力検査と調査書の割合、傾斜配点の実施、問題の自校作成など）
ただし、エンカレッジスクールとして指定された都立高校は、学力検査を実施しない。
- ② 面接、作文・小論文、実技検査など各高校によって実施される。
- ③ 各高校によって学力検査と調査書の割合や傾斜配点（特定の教科に比重をかける）、問題の自校作成など実施方法が異なる。（事前にしっかり調べておきましょう）

検査教科等のうち、１教科（面接、実技検査等を含む）でも受検しなかった者は、受検を放棄したものみなされます。

◇ 集合時間及び時間割

○ 全日制及び定時制

	開始時刻 ～ 終了時刻	時間	検査教科
集 合	午前 ８時 30 分		
第 1 時限	午前 ９時 00 分 ～ 午前 ９時 50 分	50 分	国 語
第 2 時限	午前 10 時 10 分 ～ 午前 11 時 00 分	50 分	数 学
第 3 時限	午前 11 時 20 分 ～ 午後 ０時 10 分	50 分	英 語
第 4 時限	午後 １時 10 分 ～ 午後 ２時 00 分	50 分	社 会
第 5 時限	午後 ２時 20 分 ～ 午後 ３時 10 分	50 分	理 科

（注）英語学力検査時間の最初の約 10 分間に、リスニングテストを実施する。

○ 持参するもの

受検票、HB又はBの鉛筆（シャープペンシルも可）、消しゴム、直線定規（角度の目盛りのないもの）、コンパス、弁当、上履き。なお、時間を計る以外の機能を備えた時計、携帯電話などの通信機器の持ち込みは原則許可しない。

(7) 選考

選考は、調査書、学力検査（面接、小論文又は作文、実技検査を実施する都立高校にあってはそれらを含む）および点数化したスピーキングテスト結果を総合した成績（総合成績）、入学願書による志望及び都立高校長が必要とする資料により行う。なお、**面接を実施する学校においては、自己PRカードを面接資料として活用する。**

- ① 各都立高校は、選考に当たり次の項目（ただし、イ、ウ、エは実施する学校のみ）を適切に定める。
- ア 学力検査の得点と調査書の各教科の学習の記録を点数化したものの比率については、次のとおりとする。
- ・全日制は学力検査：調査書＝7：3とする。ただし、芸術及び体育に関する学科は6：4とする。また、受検者ごとに7：3と10：0のそれぞれの比率に基づき学力検査の得点と調査書点の合計を算出したうえで、どちらか高い方を当該受験者の選考に用いる学校もある。
 - ・定時制は、学力検査：調査書＝7：3または6：4のどちらかとする。
 - ・学力検査の得点と調査書点の合計は1000点を満点とする。また、スピーキングテストの結果を点数化したものは、20点を満点とする。学力検査の得点と調査書点にスピーキングテスト結果を加えた合計を「総合得点」といい、1020点を満点とする。
 - ・スピーキングテストの結果の点数化については、
Aは20点、Bは16点、Cは12点、Dは8点、Eは4点、Fは0点とする。
- ※ 調査書点については「東京都立高等学校に入学を希望する皆さんへ」P56～57を参照。
- イ 面接、小論文又は作文及び実技検査の結果については、各都立高校がそれぞれを点数化する。
- ウ 実技検査の結果を点数化したもの（実技検査点）。
- ・調査書点の算出に当たっては、学力検査を実施する教科の評定は1倍、学力検査を実施しない教科の評定は2倍とする。

② 傾斜配点

コース制高校や全日制の単位制高校では傾斜配点を行っている。傾斜配点とは特定の教科（多くはそのコース制等の特徴が活かせる教科）の得点に比重をかけて、その教科が得意な生徒を高く評価するものである。

例 【深川高校 外国語コース】	英語 2倍	その他 1倍
-----------------	-------	--------

- ③ エンカレッジスクールは学力検査を実施せず、面接、作文または小論文（高校により実技検査）
- ④ チャレンジスクールは学力検査を実施せず、面接及び作文。学校所定の志願申告書を提出。調査書の提出はしない。

◇ 合格候補者決定

- ① 当該都立高校の募集人員に相当する人員を総合成績の順により決定し、これをその都立高校の合格候補者とする。**男女別の募集人員は、撤廃されました。**
- ② 学科内に2科（2分野）以上ある場合には、次の方法により合格候補者を決定する。
- ＊専門学科及び定時制の都立高校に多い。
- ア 科（分野）ごとに、その科（分野）を第1志望とした者のうちから、総合成績の順に合格候補者を決定する。

イ 第1志望で募集人員に達しない科（分野）は、その不足人員を志望の順位に基づき、総合成績の順に充足する。

（8）入学手続

東京都教育委員会が設置するウェブサイトへ、受検番号順に、受検番号により掲示される。なお、入学願書提出校における掲示も併せて行う。合格者には合格通知書が交付される。入学手続期間内に入学確約書を提出し、所定の納付書により、納付期間内に入学料（全日制 5,650 円、定時制 2,100 円）を納付書裏面に記載の納付場所で納付しなければならない。

入学確約書を提出しない場合、合格を放棄したものとみなす。

なお、入学料の納付がない場合、入学確約書は無効とする。

◇不受検証明について

転居等の事情により、他の道府県の公立高等学校等へ志願する場合は、志願を予定している道府県教育委員会に必要な書類の種類・形式等を確認してください。（東京都の証明書の形式でよい場合と道府県所定の用紙でなければならない場合があります。）

5 令和9年度都立高等学校入試

【学力検査に基づく選抜：分割後期・第二次募集について】

- [illegible]

＜第二次募集・分割後期の概略＞

都立高校では学力検査に基づく選抜はほとんど第一次募集しか行われませんが、入学手続き者数が第一次募集の募集人員に満たない場合、高校は第二次募集を行います。

(第一次募集で募集人員が満たされれば第二次募集は行われません)。

それに対して分割後期募集は、一般入試の募集人員そのものを、あらかじめ前期と後期で2枠確保して行う募集です。そのため前期と後期の2回必ず試験が行われますが、分割後期は実施校が少ないことから、合格ラインは前期より大きく上がる場合が多くなります。

6 私立高等学校入試について

私立高校は独自の理念をもち、それをもとに方針を立てて運営されている。そのために様々な選抜方法で実施している。また教育目標を達成するために、その学校の教育方針をよく理解してその学校を受験する生徒を求める傾向が強くなっています。

選抜は大きく分けて推薦入試と一般入試があり、「単願推薦」・「第1志望」・「第2志望(併願優遇)」などがあり、12月15日から中学校と高校の先生による「入試相談」が行われます。その制度での受験が可能かどうかが決まります。合格を保証するものではありません。

私立高校を考えている場合は、各学校の募集要項を熟読し、説明会・個別相談などに参加することで、その高校の入試制度についてきちんと理解をし、12月の面談で最終的な受験の方法が決められるように準備をしましょう。

＊私立入試制度について（東京都内の私立高校）

	推薦入試（1月）	一般入試（2月）		
形態	推薦（単願）	併願優遇	第1志望	一般入試
概要	ほとんどの学校で導入 合格したら必ず入学することが条件。	導入している学校が多い 都立一次発表時点で第一志望の公立高校(又は第一志望の私立)が不合格の場合、必ず入学することが条件。	一部の学校で導入されている。 一般入試の際、入試点加算等の優遇措置を設ける。	受験に際してほとんど 条件・基準がないが、優遇措置もない。
他校との併願	できない。合格したら必ずその学校に入学する。	公立1校のみというケースが多いが、私立との併願ができることもある。 (各高校の募集要項、または個別相談で必ず確認する)	できるが、この制度を利用して合格した場合は入学することが条件。	何校でも受験できる。(制約はない)
基準(例)	○成績：高校の示す基準を満たしていること（3科、5科、9科などの内申素点で示される） (出願資格の場合もあり、入試選考により不合格もある。) ○出欠：年間欠席遅刻日数、3年間の欠席遅刻日数が高校の提示する日数以内であること。			
試験	・調査書／中学校長推薦書 ・面接 ・作文 ・(学科試験)／(実技試験)	・学科試験 ・調査書 ・面接、作文等	・学科試験 ・調査書 ・面接、作文等	・学科試験 ・調査書 ・面接、作文等
入試相談	12月15日より（可否の見通しを高校側で示す）			
試験日	東京都は1月22日頃	東京都は2月10日頃		
合格の可能性	推薦基準をクリアし、入試相談で認められれば、合格の可能性は高い。	併願優遇の基準をクリアしていれば、合格の可能性は高い。 学科試験が悪ければ不合格になることもある。	第一志望基準をクリアしていれば、入試点に加点（＋20点など）されるケースが多い。あくまで入試得点次第。	調査書など総合的に可否の判定をするが、あくまで当日の入試得点が大きな比重をもつ。

＊ 推薦(単願)制度を利用する場合は、深川第七中学校の推薦が必要になります。

◇ 私立高校受験の流れ（東京都の場合）

現 在～11 月中	説明会や個別相談等に参加し、志望校を選ぶ、ほぼ決定する。
12月1日～12月9日	三者面談で受験校を決定する。
三者面談後～12月15日	願書や募集要項などの書類を準備する。
12月15日～	【入試相談】中学校から高校側に推薦受験者に関する書類を提出する。
1月15日～	【推薦】願書受付
1月22日	【推薦】入試
1月23日頃	【推薦】合格発表
1月25日～	【一般】願書受付
2月10日～	【一般】入試
2月11日～	【一般】合格発表

- ★ 網掛け部分については、各高校によって異なります。受験校の募集要項で必ずご確認ください。
- ★ 千葉県、埼玉県の私立高校の試験日は、都内私立高校に比べ早い日程で行われます。
日程は学校ごとに異なりますが、推薦入試の場合、出願を12月中旬にすませ、1月上旬(冬休み明け直後)に試験を実施する場合があります。書類作成にある程度時間が必要ですので。ご家庭で十分に日程を確認の上、担任の先生に早めにご連絡ください。
- ☆ 近年、インターネット出願や発表を実施する学校が増えています。日程の確認、手続きの流れ等、漏れのないように注意してください。

◇ 入試相談について

- ① 内 容：中学校の先生と高校の先生で、推薦受験、併願優遇受験、第1志望受験の制度を利用したい生徒の相談（可否の可能性など）を行う。
- ② 日 時：令和7年12月15日～
- ③ その他：推薦受験、併願優遇受験、第1志望受験の制度を利用したい生徒は、三者面談終了をめぐに、受験校を確定する必要がある。

<私立高校受験の際の注意>

- ・ 受験を検討している学校は、保護者同伴で学校訪問をし、個別相談を必ず受けてください。
- ・ 願書は各自で準備してください。（高校訪問時に入手できる場合が多いようです）
- ・ 受験の日程をしっかりと確認してください。（2校以上受験する場合、試験日が重ならないよう注意）
- ・ 調査書の形式は独自のものであることが多いのでしっかりと確認しておく。
- ・ 併願優遇などの制度を利用して、第1志望ではない高校を受験するときも、実際に3年間通うことを想定して、十分に調べ納得したうえで出願・受験する。

7 その他の進路について

(1) 就職

① 就職するための方法

就職するには、主に次の2つの方法があります。いずれにしろ、現在、中学校卒業者の就職は厳しいのが現状です。自分の適性、将来の自分の姿、保険などの保障制度など、いろいろな面から考える必要があります。

- ・ ハローワークの紹介による就職
- ・ 縁故関係者の紹介による就職

② 働きながら進学する人のために

働きながら学びたい人のために、夜間に授業をおこなう「定時制高校」があります。ほとんどの夜間定時制高校では、午後5時30分から9時まで、1日4時限授業で、修業年数が4年間となります。自宅および就職先からの距離（時間）を考えて選ぶ必要があります。

近年は授業開始時間を早めて1日の授業時数を多くし、3年間で卒業できる「定時制高校」も出てきました。実際にその高校を見学するなどしてみるとよいでしょう。

(2) 高等専修学校・各種学校

高等専修学校は、中学校卒業者を対象とした高等課程をおく専修学校のことをいいます。

専修学校は、職業や实际生活に必要な能力を養成し、また教養の向上を図ることを目的としています。専修学校と各種学校は、どちらも学校教育法に基づく「学校」ですが、専修学校の修業年数が1年以上であるのに対して、各種学校は3ヶ月以上とされています。

＊ 高等専修学校を卒業しても、「高校卒業」の資格にはなりません。そのため、通信制高校と提携している学校もあります。その場合、費用は二重にかかります。

(3) サポート校

「サポート校」と呼ばれる機関は、都内にかなりの数が設置されています。

現在は、無認可の教育機関ですが、通信制高校を修了（卒業）するための手助けをしてくれる機関です。したがって、サポート校への進路を希望する人は、「サポート校」と「通信制高校」の2つに入学することになります。その分、多少費用はかかりますが、いろいろな事情で、自分の力だけでは高等課程を修了できそうにないとする人にとっては、大きな力になってくれます。

都内には相当数のサポート校がありますので、そのシステムや雰囲気など、自分の目でしっかりと確かめ、進路を決めるようにしましょう。

最近では、サポート校への進学希望者が増加していて、早い段階(10月)であっても募集を終了する学校が出ています。

8 深川第七中学校の学校推薦受検(験)確定までの流れ

深川七中の学校推薦基準については、以前に資料配付していますので、今回は学校推薦における確認事項と手順について確認してください。

◆ 学校推薦における確認事項

- 都立高等学校の推薦受検や、私立高等学校の(単願)推薦受検に合格できた場合は、その高校で3年間、しっかりとした高校生活を送ること。
- 併願優遇受検をした私立高校に合格し、都立高校の第一次募集で不合格になった場合は都立高校二次試験や分割後期(定時制5校のみ)以降の試験を受検することなく、受検した私立高校に入学すること。
- たとえ推薦が得られたとしても、今後の深川第七中学校での生活において、推薦にふさわしくない行動があった場合、もしくは高校の推薦基準に反する場合は、推薦を取り消されること。
- 学校推薦が認められ、受検校が決定次第、速やかに『推薦受検(検)確認書』を提出する。
『推薦受検(検)確認書』を提出した後、推薦受検希望を取りやめることのないよう強い意志を持って生活してください。

◆ 学校推薦決定までの手順

- ① 生徒・保護者から推薦受検(験)の希望を出された後、担任から「推薦受検(験)願」をお渡ししますので、必要事項を記入の上、提出します。
- ② 提出された「推薦受検(験)願」をもとに、第3学年では教科担任や部活動・委員会等の顧問などと相談の上、推薦の可否を検討します。
- ③ 上記の内容を深川第七中学校職員会議に提出し推薦の可否を全教員で検討する。
- ④ 職員会議の検討を受け、校長・副校長が学校推薦該当生徒を最終的に決定します。

判 定 [推薦承認]……推薦されることになりました。

推薦を得た後も、深川七中の規則を守り、勉学や学校生活全般に励むこと。

[保 留]……不十分な点があり、推薦を保留します。

今後の取り組みいかんによって承認される可能性が出てきます。

[不 可]……残念ながら推薦することはできません。

- ⑤ 校長・副校長の決定を受けて、3学年主任・担任は推薦受検(験)希望生徒に決定内容を伝えます。
- ⑥ 推薦承認生徒には、別紙「推薦受検(検)確認書」を配付します。

9 書類について

進路関係の書類は、再発行できないものや、提出期限厳守のものがほとんどです。1つのミスが、取り返しのつかないことになってしまいます。下記の事項をしっかりと確認してください。

- * 都立高校の出願に要する書類は一部を除いて中学校に届き、配付します。
 - * 私立高校の場合は、その高校に出向くか書店で書類を入手することになります。
- 受験校が確定次第、各自でご準備ください。

- ☆ きれいな状態を保持し、提出期限を必ず守ってください。
 - ☆ 重要な書類が続きます。生徒だけではなく、保護者の方も一緒にご確認ください。
- また、配布の際は、必ず生徒に説明して配布いたしますが、家庭で不明な点がある場合は、担任までお問い合わせください。

	他県私立高校	都内私立高校	産業技術高専	都立高校	
				全日制	定時制
願 書	各自で準備する。 (高校訪問時に入手できる場合が多い)			深川第七中学校に届く	
					※一橋・浅草・六本木・大江戸高校は直接取りに行く。
調査書	高校によっては都立様式でも可 (独自様式のものはずぐ担任へ)		都立様式 (中学校で用意します)		
受験料	学校により金額は様々 (金額と納入方法をしっかり確認してください)		12,600 円	2,200 円	950 円
				納付書は深川第七中学校に届きます	

◇ 入試関係書類の作成について

下の表のように、都立高校を受験する際に必要な書類は、中学校で準備をします。

私立高校の調査書・推薦書などの作成については『入試関係書類作成願』を学校に提出して下さい。

* 『入試関係書類作成願』の用紙は、12月の三者面談のときに配付します。

	都立高校 【書類は学校に届きます。】	その他の高校（国公立・私立） 【高校訪問などで、各自で準備をして下さい。】
願書	注意事項に従って入力して下さい。（インターネット出願の場合は必要事項を各自入力）	入試要項などをよく読み各自で記入して下さい。
調査書	中学校で用意をします。	「入試関係書類作成願」を提出し、作成の依頼をして下さい。
推薦書	中学校で用意をします。	「入試関係書類作成願」を提出し、作成の依頼をして下さい。

10 今後の進路予定 * 予定は今後変更されることもあります。ご了承ください。

10月20日(火) 第2回進路説明会

10月28日～11月9日 第2回三者面談(推薦受検(験)確認など)

11月11日～13日 第3回定期考査(3年生のみ9教科) 11日 音楽・美術・保健体育・技術家庭

12日 英語・理科・国語

13日 社会・数学

11月13日(金) 受検(験)写真、卒業アルバム写真撮影

11月22日(日) 英語スピーキングテスト(ESAT-J YEAR3 @都立両国高校)

11月30日～12月7日 第3回三者面談

(最終受検(験)校確認、推薦・併願優遇願、書類記入氏名確認、調査書・推薦書作成依頼など)

※ 私立入試は、学校によって日程が異なります。必ず入試要項などで詳細を確認して下さい。

12月 9日(水) 推薦・併願優遇願提出〆切

12月15日(火) 私立高校入試相談始(進路の手引きP14参照)

※入試相談は中学校と高校で行います。

12月17日(木) 調査書・推薦書作成依頼〆切

12月18日(金) 都立高等学校インターネット出願サイト、志願者情報等入力期間 始

1月

1月 6日(水) 英語スピーキングテスト(ESAT-J YEAR3)マイページ結果公開(11/22受験者)

1月未定 コミュニケーション能力育成講座(希望者のみ)

1月15日(金) 調査書記載事項通知〆切

1月15日頃～ 都内私立高校推薦入試出願

1月18日(月) 都立高等学校推薦入試出願入力〆切 午後5時

1月8日～18日 都立高等学校推薦・IB入試書類提出期間(18日必着)

1月22日頃～ 都内私立高校推薦入試

1月23日頃～ 都内私立高校推薦入試合格発表

1月25日頃～ 都内私立高校一般入試出願

1月18日(月) 英語スピーキングテスト(ESAT-J YEAR3)個人レポート発送(11/23受験者)

1月20日～21日 都立高等学校在京(国際以外)入試出願

1月26日～27日 都立高等学校推薦・IB・在京(国際以外)入試 学力検査

1月29日～2月4日(4日必着)

都立高等学校全日制一次・分割前期・帰国・在京(国際)・通信(前期選抜)入試書類提出期間

2月

2月2日～3日 都立高等学校推薦・IB・在京入試 合格発表・入学手続き
2月 4日(木) 都立高等学校一般入試出願入力〆切 午後5時
2月10日頃～ 都内私立高校一般入試
2月11日頃～ 都内私立高校一般入試合格発表
2月21日(日) 都立高等学校全日制一次・分割前期一般入試 学力検査等
2月22日(月) 都立高等学校通信制(前期選抜)一般入試 学力検査
2月24日～25日 第4回定期考査(1・2年生は23日も)

3月

3月1日～2日

都立高等学校全日制一次・分割前期・通信制(前期選抜)一般入試 合格発表・入学手続き

3月 4日(木) 都立高等学校分割後期・全日制二次入試 出願
3月 5日(金) 都立高等学校分割後期・全日制二次入試 取り下げ
3月 8日(月) 都立高等学校分割後期・全日制二次入試 再提出
3月 9日(火) 都立高等学校分割後期・全日制二次入試 学力検査等
3月12日・15日 都立高等学校分割後期・全日制二次入試 合格発表・入学手続き

3月19日(金) 卒業式

3月25日(木) 都立高等学校定時制二次入試 出願
3月26日(金) 都立高等学校定時制二次入試 学力検査等
3月29日・30日 都立高等学校定時制二次入試 合格発表・入学手続き

4月通信制後期選抜、4月募集の試験日程あり。

※ 都立入試は、学力検査日以降に実技検査・面接等が実施されるところもあります。

※ インフルエンザ等やむを得ない理由で受検できなかった者で受検を希望する申請を行い、認められた場合、追検査を実施します。申請は、中学校長から高等学校長への連絡に限られています。

1 1 保護者の方へのお願い

(1) 普段の生活を大切に、毎日の積み重ねが、進路目標の達成につながっていく

規則正しい生活リズムを保ち、基本的な生活習慣（時間、あいさつ、礼儀、身だしなみなど）を大切にしてください。良い体調で毎日の生活が送れるよう、サポートをお願いします。

（食事、睡眠時間など）

(2) 「最良」を期待しつつ、「最悪」も想定して考えていく

生徒に「最良の結果を得て欲しい」という願いは、我々教員も同じ気持ちですが、大人として、違う角度から見ておく必要があります。子どもたちが「最悪」の結果となってしまったとき、落ち込んだ心を支え、助言をしていただくことが必要です。

(3) 進路についての十分な話し合いを行う

保護者と生徒がお互いの考えをよく理解し合えるよう、話し合いの機会を増やしてください。また、学校からの連絡や情報を確実に得られるようこまめにご確認ください。

(4) 確実な情報の把握をする

進路決定までの流れ、日程、受験制度など、生徒と同じように保護者のみなさまも知っておくことが大切です。学校説明会や見学会などにご同伴いただき、進学先のことを十分に把握してください。

(5) 三者面談に向けて

学校で予定されている面談は、10月と12月の2回ですが、希望があれば、随時行います。わずか15～20分程度の時間ですが、進路決定に向けての情報を得て相談するだけでなく、生徒自身が自分の言葉で希望の進路や合格を目指す「決意」を表明する機会でもあります。

その大切な機会を有効に活用するためにも、生徒と保護者の方の考えを一致させておいてください。

(6) 書類の作成・提出について

進路に関する書類は生徒の人生に大きく影響するものでもあります。認め印は、「保護者として了解しています。」という意味を表しますので、必ず保護者の方がご覧になって、間違いがないか点検してください。消えるペンや修正液（テープ）の使用は基本的に不可です。

なお、公的な書類の認め印には朱肉を使って押印することになります。ゴム印（シャチハタ）の使用は認められていませんのでご注意ください。

また、締め切り期限は必ず守ってご提出ください。

(7) 写真撮影や受験のときなど、頭髪・服装に十分に気を付ける

受験写真撮影や受験当日など、頭髪・服装面で清潔感が求められます。また、身だしなみを整えることで気持ちを落ち着かせて、試験や面接に臨むことができます。学校見学や体験入学・願書をもらいに行くときや出願、受験に出かけるときなど、全ての場面で「高校の先生方に見られている」という意識を持たせてください。

(8)

親
展

と



というハンコを知っておいてください。

～出願などでトラブルにならないために～

受検(験)や進学の際に作成する書類には個人の重要な情報が記載されていることから、上の『親展』と『緘』のハンコを押して、担任の先生から皆さんに渡されます。ここで『親展』と『緘』の意味を知らないために出願前に開封してしまうトラブルがおきることがあります。言葉の意味を知っていれば防げる簡単なことですし、社会人になっても知っていて損はない常識の一つですからこの機会に生徒の皆さんは覚えておいてください。

親 展 (しんてん) とは『宛名の人だけに開けてほしい』

(→宛名が校長先生だったら生徒や保護者は開けてはいけない)

緘 (かん) とは『封筒を確かにとじた』

(→不正のないようにきっちりとじた目印)

という意味です。大事な手続きがスムーズにできますようご家庭でもご指導ください。

1 2 進路関係の資料

◆ 都内私立高等学校入試相談用紙

東京私立中学高等学校協会作成の共通書式です。12/15 から始まる入試相談では、この書類がほとんどの私立高校で使用されます。

入 試 相 談 用 受 験 希 望 者 名 簿

記第3学年の学習分		推 薦 入 試		一 般 入 試		フリガナ		学 校 名										学 年		教 科 の 評 定										備 考		特 別 活 動 等 の 記 録		指 導 上 参 考 と なる 諸 事 項	
学 科	コ ー ス	推 薦 入 試	一 般 入 試	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名	学 年	国 語	社 会	数 学	理 学	音 楽	美 術	保 体	技 術	家 庭	外 国 語	(英語)	備 考	欠 席 日 数	学 級 活 動・生 徒 会 活 動・ク ラ ブ	部 活 動・学 校 行 事・そ の 他	指 導 上 参 考 と なる 諸 事 項											
								3																											
								2																											
								1																											
								参考																											
								3																											
								2																											
								1																											
								参考																											
								3																											
								2																											
								1																											
								参考																											
								3																											
								2																											
								1																											
								参考																											

※第3学年の成績は、成績一覧表調査委員会の正式な調査を怪でないものである。

年 月 日 中 学 校 名 電 話 中 学 校 長 名

一般財団法人東京私立中学高等学校協会 入試相談用標準様式(令和8年度入試用)

◆ 都立高等学校自己PRカード

都立高校推薦に基づく選抜で個人面接を行う場合にこの書類を記入し、提出します。高等学校は自己PRカードを面接資料として活用します。

(様式12) (A4判)

受験番号	※	コース・科(分野)・部	受験番号	※	コース・科(分野)・部
文化・スポーツ等 特別推薦	※		一般推薦	※	
理数等 特別推薦	※		一般選抜	※	

自己PRカード

東京都立_____高等学校長 殿

_____立_____中 学 校

氏 名 _____

1 志望理由について

(この学校を志望した理由と入学してから自分が取り組みたいと思うことなどについて『本校の期待する生徒の姿』を参考にして記入しましょう。)

2 中学校生活の中で得たことについて

(中学校生活の中で自分が特に伝えたいことを学校内外で体験したことから選び、そこから自分が得たことについて具体的に記入しましょう。)

3 高等学校卒業後の進路について

(将来の夢や目標、将来なりたい職業など、高等学校卒業後の進路について自分が考えていることを具体的に記入しましょう。)

- (注意) 1 志願者が黒のペン又はボールペンで記入する。ただし、摩擦に伴う温度変化等により消色するインクを用いたペン又はボールペンは、使用しないこと。
 なお、コピー等鮮明な表記のものは認める。
 2 推薦に基づく選抜を志望する者、学力検査に基づく選抜において面接を実施する都立高校を志願する者は、この自己PRカードを出願時に提出する。また、面談の対象となる者、一般の学力検査における引揚生徒の受検についての措置又は定時制成人受検者特別措置により受検する者についても、出願時に提出する。
 3 ※欄は記入しないで大可。

見本

推薦受験(検)願

深川第七中学校 学校長殿

わたしは、高等学校の「学校推薦受験(検)」を希望しています。下記の確認事項を了承し、深川第七中学校の生徒として自覚と責任をもち、しっかりとした学校生活を送りますので、学校推薦を認めて頂きたく存じます。

確認事項

- これから、深川第七中学校での学校生活において、気を緩めずにしっかりと過ごします。
もし推薦にふさわしくない行動をとったり、高校の推薦基準に反したりする場合は、推薦を受けられないことがあっても異存はありません。
- 学校推薦が認められた場合、受験(検)校が決定次第速やかに「推薦受験(検)確認書」を提出します。
なお、「推薦受験(検)確認書」を提出した後は、推薦受験(検)の希望を取りやめたり、変更したりすることはありません。
- 公立高等学校の推薦受験や、私立高等学校の(単願)推薦受験に合格できた場合は、その高校で3年間しっかりと高校生活を送ります。
- 併願受験をした私立高校に合格し、公立高校の前期・一次入試で不合格になった場合は、公立高校の分割後期や二次募集以降の入試を受検することなく、必ず併願受験をした私立学校に入学します。

◆推薦受験(検)の種類

A 公立高等学校について

*希望する場合は、○をつける

☐

国立・都立高等学校等の推薦受験入試

B 私立高等学校について

*希望する場合は、下の選択肢のいずれかに○をつける。

単願推薦と併願優遇を同時に受験することはできません。

☐

私立高等学校の(単願)推薦受験入試

☐

私立高等学校の併願推薦(優遇)入試

令和 年 月 日

3年 組 番 生徒氏名

保護者氏名

(ここから下は記入しないで下さい)

<裁定>

承認 保留 不可

学校長	副校長	学年主任	担任
印	印	印	印

見本

推薦受検確認書

深川第七中学校 学校長殿

わたしは、下記の都立高等学校の学校推薦受検を希望しています。推薦を受けるにあたって、深川第七中学校の生徒として自覚と責任をもち、しっかりとした学校生活を送ります。

また、次の事柄をきちんと守ります。

- 1 この＜推薦受検確認書＞を提出した後は、推薦受検する高校を変更することはありません。
- 2 都立高等学校の推薦受検に合格できた場合は、他の学校は一切受験しません。
また、合格できた学校で3年間しっかりとした高校生活を送ります。
- 3 今後の深川第七中学校での生活において、推薦にふさわしくない行動があった場合、もしくは高校の推薦基準に反することがあった場合は、推薦を取り消されても異存はありません。

【推薦受検校 確認欄】

高等学校		科 コース 部
推薦の種類(○をつけて下さい) ＊一般推薦と特別推薦は両方受検することも可能です。	一般推薦	文化・スポーツ等特別推薦

令和 年 月 日

3年 組 番 生徒氏名

保護者氏名

見本

推薦受験確認書

深川第七中学校 学校長殿

わたしは、下記の私立高等学校の学校推薦受験を希望しています。推薦を受けるにあたって、深川第七中学校の生徒として自覚と責任をもち、しっかりとした学校生活を送ります。

また、次の事柄をきちんと守ります。

- 1 この＜推薦受験確認書＞を提出した後は、推薦受験する高校を変更することはありません。
- 2 私立高等学校の推薦受験に合格できた場合は、他の学校は一切受験しません。
また、合格できた学校で3年間しっかりとした高校生活を送ります。
- 3 併願推薦受験した私立高校に合格し、公立高校の前期・一次入試で不合格になった場合は公立高校の分割後期や二次募集以降の入試を受検することなく、必ず併願推薦受験した私立高校に入学します。
- 4 今後の深川第七中学校での生活において、推薦にふさわしくない行動があった場合、もしくは高校の推薦基準に反することがあった場合は、推薦を取り消されても異存はありません。

【推薦受験校 確認欄】

		科 コース 部	
高等学校			
推薦の種類(○をつけて下さい)	単願推薦	併願推薦	

令和 年 月 日

3 年 組 番 生徒氏名

保護者氏名

見本

併願優遇・第一志望優遇受験確認書

深川第七中学校 学校長殿

わたしは、下記の私立高等学校の併願優遇・第一志望優遇受験を希望しています。受験するにあたって、深川第七中学校の生徒として自覚と責任をもち、しっかりとした学校生活を送ります。

また、次の事柄をきちんと守ります。

- 1 この＜併願優遇・第一志望優遇確認書＞を提出した後は、優遇受験する高校を変更することはありません。
- 2 併願優遇受験した私立高校に合格し、公立高校の前期・一次入試で不合格になった場合は公立高校の分割後期や二次募集以降の入試を受検することなく、必ず併願優遇受験した私立高校に入学し、3年間しっかりとした高校生活を送ります。
- 3 私立高等学校の第一志望優遇受験に合格できた場合は、他の学校は一切受験しません。合格できた学校で、3年間しっかりとした高校生活を送ります。
- 4 今後の深川第七中学校での生活において、本優遇制度にふさわしくない行動があった場合、もしくは高校の優遇基準に反することがあった場合は、優遇を取り消されても異存はありません。

【併願優遇・第一志望優遇受験校 確認欄】

		科 コース 部	
高等学校			
優遇の種類(○をつけて下さい)	併願優遇	第一志望優遇	

令和 年 月 日

3 年 組 番 生徒氏名

保護者氏名



江東区立深川第七中学校 <令和8年度 第3学年>

3年	組	番
氏名		